

村上秀三さんの著書（エッセイ）発売

「明日に向かって」

定年退職後に社会保険労務士資格を取得し、事務所開設。
いまま高年齢者雇用アドバイザーとして活躍する著者が綴る、豊かに歳を重ねる秘訣と思考。

内容紹介

脳梗塞、狭心症、社労士試験失敗…幾多の苦悩を乗り越え、見出した新しい明日への道。

人生の岐路における 多くの選択は、関係した人々の言動によって左右され、思い悩むことが多い。定年後の選択ほど自らの意思でできるものはない。人生百年時代、大きく羽ばたこう。

まだ、人生、三、四十年間ある。
選択を間違えても、まだまだ人生は長い。
充分やり直す時間はある。（本文より）



■著者紹介

村上秀三（むらかみ ひでぞう）

三河、蒲郡に生まれる。「心・技・体」を鍛える為に中・高にて柔道部で活躍。自然を体感するためワンダーフォーゲル部にて「山」に登る。戦争カメラマンを目指して、新聞社 写真部にて報道カメラマンの基礎を学ぶ。航空写真会社にて航空カメラマンに転身。

ヒマラヤ遠征にて両足を負傷 戦争カメラマンを断念する。生命保険会社入社。32年間勤務し定年で退社。社会保険労務士試験合格。翌年「プラスト社労士事務所」設立。特定社会保険労務士試験合格。高年齢者雇用プランナー・アドバイザー。現在に至る。

4-6判 190ページ
2021年3月18日出版
価格 1,200円＋税